

シカの道路横断誘導柵の設置範囲について

1. 実証実験の目的

奈良公園（特に重点保護地区：A地区）においては、シカが被害に遭う交通事故が年間100件以上発生しており、その軽減が天然記念物「奈良のシカ」にとって喫緊の解決すべき課題となっています。そのため、検討委員会での検討結果を踏まえた実証実験案（道路横断誘導柵）に基づき柵を設置するとともに、柵設置による効果の検証を行います。

2. 設置期間

平成30年12月20日（木）～平成31年2月（予定）

3. 設置範囲

シカの飛び出しによる交通事故を低減させることを目的として、シカの移動ルートを誘導するための簡易な道路横断誘導柵を試験的に設置します。

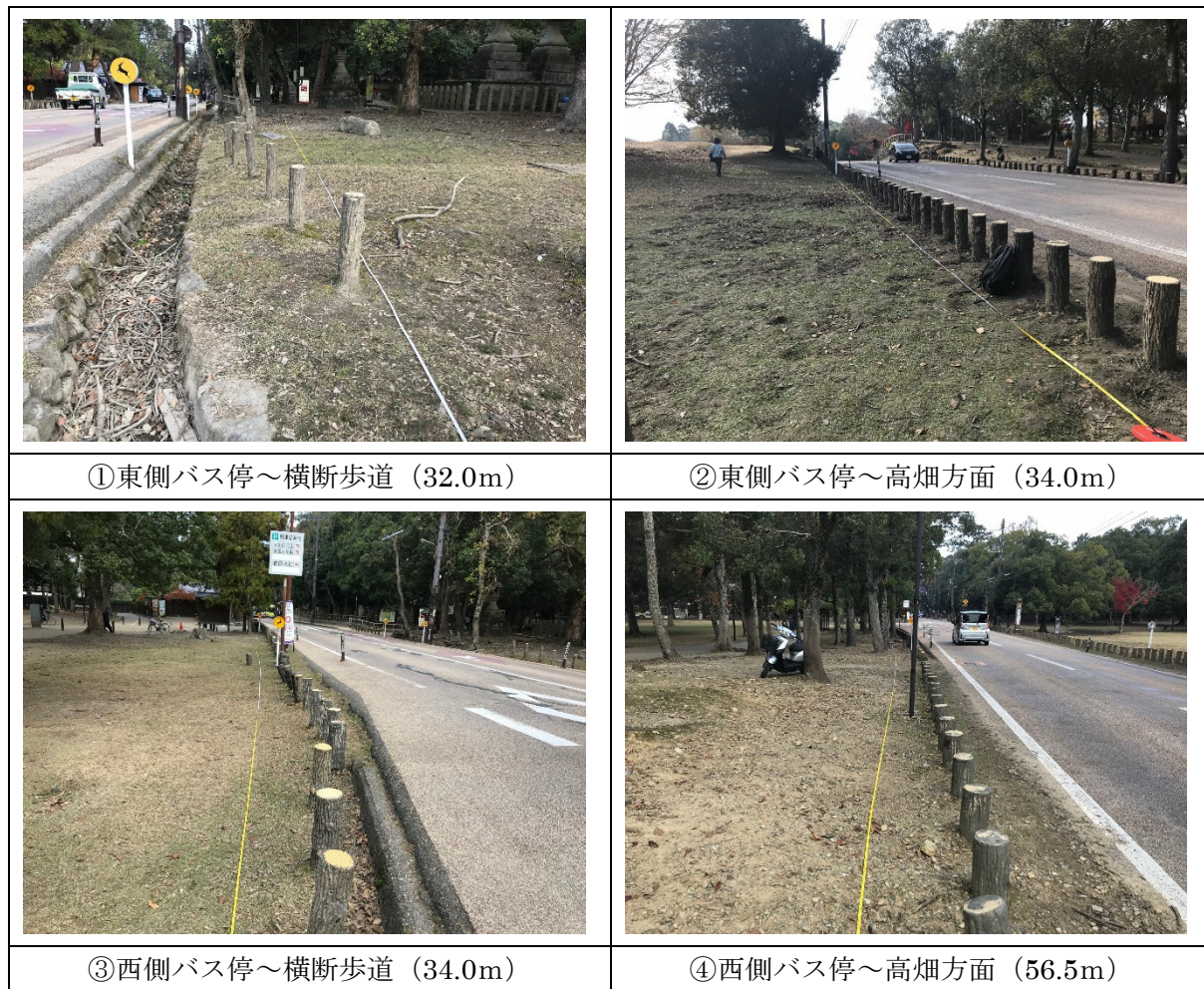
過年度の調査でシカの交通事故の発生率が高く、かつ交通事故発生件数、交通量、シカの横断件数が多い「春日大社表参道」バス停付近を設置対象としました。

柵は、図1、写真1に示す範囲に設置します（L=156.5m）。なお、バス停付近については柵を設置しません。また、柵が転倒しても交通への影響が生じないように、公園内に設置してある擬木杭よりも園地側に設置します。



図1 シカの道路横断誘導柵の設置範囲

写真1 シカの道路横断誘導柵の設置範囲



4. 設置柵について

奈良公園内で使用されている据え置き型の柵(写真2:幅2m、高さ80cm)を並べて設置します。設置にあたり、観光客の方等への周知として、シカの交通事故防止のための実証実験である旨の標識を柵に掲示するとともに、夜間に通行される観光客の方等への安全に配慮し、蛍光反射テープを柵に貼付します。



写真2 設置する柵

以上